

事業 21	ものづくり基本計画	(方針2) 事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援 (施策4) 経営資源確保のための環境整備		平成25年度			
	事業名	大学等研究機関への相談機会の拡充		予算額	指定管理料115,540千円の一部		
				決算見込額	指定管理料115,540千円の一部		
	事業概要	<p>市内のものづくり事業者の大学等研究機関に対する相談機会の拡充を図る。静岡市ものづくり産業振興基本計画を策定するにあたり、市内中小事業者等へのヒアリングを実施したところ、次のようなコメントが多数聴かれた。</p> <p>■中小事業者の主なコメント 「商品開発への取組みに際して、大学等の研究機関に相談を掛けたいと思う機会が度々あるが、具体的にどこへどのように行ってよいのか分からない。」 「大学等の研究機関に相談できず、解決策に行き着かないまま終わってしまうことが多々ある。」</p> <p>そのため、中小事業者の多様なニーズを汲み取るとともに、大学等の研究機関などとの結び付きを図る中間支援機能が必要とされていることから、今回の基本計画の策定に際して事業化が図られた経緯がある。</p>		取組状況	H25.9.1 現在	<p>■地域産業課 (静岡商工会議所製造業部会事務局等) ・相談機会の拡充に向けた打合せ会(開催予定) (その他) ・中小企業への相談機会の周知に関する打合せ会(開催予定)</p> <p>■産業政策課 (産学交流センター) ・中小企業向け大学見学会(静岡大学)を実施予定。 ・静岡地区産学連携コーディネーター会議 毎月1回開催</p>	
				進捗率等	H25.9.1 現在	(開催回数)	(%)
					H26.3.31 現在	(開催回数) H24 / 2回 H25 / 1回 計 / 3回	(開催回数) 50.0 (%)
	成果目標	相談機会 6回/3年		事業評価	<p>事業結果</p> <p>■地域産業課 (静岡商工会議所製造業部会) ・製造業部会において、中小企業が抱える課題等に関し、大学への相談を通じた課題解決を促す説明を実施した。 (静岡理科大学への相談) ・静岡理科大学を訪問し、市内中小企業の課題解決に向けた取組に対して協力を依頼した。</p> <p>■産業政策課 (産学交流センター) ・12月10日中小企業向け大学見学会(静岡大学)を実施。 参加企業数9社 ・静岡地区産学連携コーディネーター会議 毎月1回開催</p>		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針					
		大施策					
		中施策					
産業振興プランの位置付け	基本方針		<p>次年度に向けた改善点 ・ 目標の未達成理由等</p>	<p>■地域産業 次年度は、静岡商工会議所製造業部会との連携を強化する中で中小企業のニーズと大学の研究成果等の結び付きが円滑に実施されるように、当該部会等との連絡調整を進めていく。</p> <p>■産業政策課 次年度は、産学連携コーディネーターによる企業訪問や相談を強化し、中小企業のニーズの掘り起しや大学とのマッチングに努めていく。</p>			
	基本方針						
	基本施策						
担当課等	<p>経済局商工部 地域産業課 産業経営担当 副主幹 佐藤 征教 (内線) 81-6641</p> <p>経済局商工部 産業政策課 新産業担当 主査 四條 陽一郎 (内線) 82-2313</p>		その他(特記事項)				

事業 22	ものづくり 基本計画	(方針3) 連携を活かした新たな取組みの推進 (施策5) 多様な分野との新たな連携や取組みへの支援		平成25年度			
	事業名	産学官交流事業の推進	予算額	産学交流センター指定管理料115,540千円及び 清水産業・情報プラザ指定管理料85,997千円の一部			
			決算見込額	産学交流センター指定管理料115,540千円及び 清水産業・情報プラザ指定管理料85,997千円の一部			
	事業概要	中小企業の新商品開発、新事業進出などを支援するため、産学交流センターや清水産業・情報プラザにおいて、情報提供や大学と企業との交流・連携事業を実施します。	取組状況 H25.9.1 現在	(産学交流センター) ・9月1日現在、実績なし ・今後の予定 地域課題に係る産学共同研究委託事業における研究 成果発表会の後、交流会を開催予定(平成26年3月)			
				(清水産業・情報プラザ) ・産学官講演会・交流会 開催数 7回、受講者数408人			
				進捗率等	H25.9.1 現在 (交流会開催数) H25 / 7回	(交流会開催数)	66.7 (%)
	進捗率等	H26.3.31 現在 (交流会開催数) H24 / 7回 H25 / 8回 計 / 15回	(交流会開催数)	71.4 (%)			
	成果目標	交流会開催数 21回/3年 交流・連携に関する情報提供の実施		事業結果 (産学交流センター) 平成26年3月14日 地域課題に係る産学共同研究委託事業 における研究成果発表会の後、交流会を開催。参加者数80名 (清水産業・情報プラザ) ・産学官講演会・交流会 開催数 7回、受講者数408人			
	総合計画 の 位置付け (分野別)	政策方針	事業 評価				
		大施策					
中施策							
産業振興 プラン 位置付け	基本方向	4 チャレンジ精神に富む人材 ・企業の輩出、育成	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	(産学交流センター) 事前告知等を十分に行ったが、成果発表会及び交流会が他の支 援機関の成果発表会と重なってしまった。参加人数に影響はなか ったものの、次年度以降は調整したうえで開催する。 (清水産業・情報プラザ) 交流会で終わらず、成果が出るように、追跡調査に努めていく。			
	基本方針	(2) 新事業展開や製品・技術・ 研究開発の支援					
	基本施策	①産学官、異分野交流・連携の 推進					
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業担当 主任主事 佐藤 貴司 (内線) 82-2313		その他 (特記事項)				

事業 23	ものづくり 基本計画	(方針3) 連携を活かした新たな取組みの推進 (施策5) 多様な分野との新たな連携や取組みへの支援		平成25年度				
	事業名	異業種交流事業の推進		予算額	128千円			
				決算見込額	128千円			
	事業概要	地域経済の活性化、新産業及び新事業の創出を促進する各種団体への助成等を行うことにより、異業種間の交流を行い、情報、技術等の交換により、相互交流事業の推進と経営意識の高揚、経営ノウハウの構築を推進します。		取組状況 H25.9.1 現在	静岡商工会議所異業種企業交流会の会員を対象に講演会を開催 ・講演会開催数 4回、参加者数 129人 ・視察会 1回、参加者数 11人			
		補足事項			進捗率等 H25.9.1 現在			
				H26.3.31 現在	講演会等 ・開催数 20回 ・参加者数 650人			
	成果目標	異業種交流を推進する団体への助成		事業 評価	事業結果 静岡商工会議所異業種企業交流会の会員を対象に講演会を開催 ・講演会開催数 9回、参加者数 323人 ・視察会 2回、参加者数 20人			
	総合計画 の 位置付け (分野別)	政策方針						
		大施策						
		中施策						
産業振興 プラン 位置付け	基本方向	4 チャレンジ精神に富む人材 ・企業の輩出、育成						
	基本方針	(2) 新事業展開や製品・技術・ 研究開発の支援						
	基本施策	①産学官、異分野交流・連携の推進						
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業担当 主任主事 佐藤 貴司 (内線) 82-2313		その他 (特記事項)	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等 異業種の交流がもっと活発になるような運営方法を検討していく。				

事業 24	ものづくり基本計画	(方針3)連携を活かした新たな取組みの推進 (施策5)多様な分野との新たな連携や取組みへの支援		平成25年度				
	事業名	メーカーとクリエイターのマッチング・ブランド化の支援		予算額	6,600千円の一部			
				決算見込額	6,600千円の一部			
	事業概要	海外を含む著名なクリエイターと地域企業、地元クリエイターと海外企業、あるいは地域のクリエイターと企業とのビジネスマッチングにより、高い付加価値を持った新商品の開発・ブランド化等を推進します。		取組状況 H25.9.1 現在	参加企業5社決定。			
					補足事項	進捗率等 H25.9.1 現在		
			H26.3.31 現在	(新商品開発件数) H24 / 6件 H25 / 5件 計 / 11件			(新商品開発件数) 366.7	(%)
	成果目標	マッチングによる新商品開発数 3件/3年		事業結果 事業評価	参加企業5社とクリエイターによる新商品開発を実施。			
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	IV産業・経済 1 都市型産業集積を目指した産業構造の知的高度化		事業結果 事業評価	参加企業5社とクリエイターによる新商品開発を実施。		
		大施策	(1)地域の特性を活かした多彩な産業の集積促進			次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	補助対象団体は、積極的に外部資金を取りに行くなど、商品開発に必要な資金を努力して獲得する必要がある。	
		中施策	②創業と新事業展開の推進強化					
産業振興プラン位置付け	基本方向	3 次代を担う産業集積の構築	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	補助対象団体は、積極的に外部資金を取りに行くなど、商品開発に必要な資金を努力して獲得する必要がある。				
	基本方針	(1)新産業クラスターの形成						
	基本施策	②コンテンツ産業の振興						
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業担当 主幹 谷川 良英 (内線) 82-2313		その他 (特記事項)					

事業 25	ものづくり基本計画	(方針3) 連携を活かした新たな取組みの推進 (施策5) 多様な分野との新たな連携や取組みへの支援		平成25年度			
	事業名	農商工連携の推進		予算額	中小企業支援センター運営補助金33,660千円の一部		
				決算見込額	中小企業支援センター運営補助金33,660千円の一部		
	事業概要	第一次製品の生産拡大を包括したマーケティング支援事業を展開、専門家を活用し、地域資源を活用した既存商品を、さらに「売れる商品」に向上させるための事業を実施します。		取組状況 H25.9.1 現在	<ul style="list-style-type: none"> ・事業体の掘り起こし支援 中小企業支援センターにおいて、新連携事業、地域資源活用プログラム、農商工連携の国の事業認定申請につながる事業体の掘り起こし等の支援を実施中。(静岡県中小企業団体中央会と連携) ・情報収集、意見交換 中部地域6次産業化ネットワーク連絡会(事務局:静岡県中部農林事務所)に出席。 		
		補足事項			H25.9.1 現在		
					H26.3.31 現在	事業体の掘り起こし 5者	
	成果目標	農商工連携による商品開発への支援		事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ・事業体の掘り起こし支援 中小企業支援センターにおいて、新連携事業、地域資源活用プログラム、農商工連携の国の事業認定申請につながる事業体を計5者掘り起こし、支援を実施した。 ・6次産業化・農商工連携に関する情報収集、意見交換 中部地域6次産業化ネットワーク連絡会(事務局:静岡県中部農林事務所)に出席 		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針					
		大施策					
		中施策					
産業振興プラン位置付け	基本方向	2 生活の質を高める産業の振興					
	基本方針	(1) マーケットを重視した事業展開の促進					
	基本施策	②生産・流通・消費の連携促進					
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業担当 主任主事 佐藤 貴司 (内線) 82-2313		その他 (特記事項)	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等 農業政策課とともに、来年度の6次産業化・農商工連携の事業スキームについて協議する。			

事業 26	ものづくり 基本計画	(方針3) 連携を活かした新たな取組みの推進 (施策5) 多様な分野との新たな連携や取組みへの支援		平成25年度			
	事業名	フーズ・サイエンスヒルズプロジェクトの推進		予算額	2,000千円		
				決算見込額	2,000千円		
	事業概要	<p>県のプロジェクトに参加、プロジェクトで得られた成果を普及し、地域産業界における事業化を促すとともに、産学官連携の一層の強化、次代を担う人材育成等を行います。</p>		<p>取組状況</p> <p>H25.9.1 現在</p>	<p>・フーズ・サイエンスセミナーin静岡の実施 6月19日 参加者数 157人</p> <p>・技術相談会・マーケティング相談会の実施 7月3日 相談件数 10件</p> <p>・食品等開発研究会の参加企業及びテーマの決定 市内企業数4社 テーマは菓子、珍味、飲料、惣菜、空港就航地の5部会</p> <p>・今後の予定 フーズ・サイエンスセミナー 2回実施(焼津市、藤枝市) 技術相談会・マーケティング相談会 2回実施(焼津市、藤枝市) 食品等開発研究会 新製品(試作品)の開発</p>		
		補足事項			<p>H25.9.1 現在</p>		
				<p>H26.3.31 現在</p>	<p>セミナーの実施 3回 技術相談会・マーケティング相談会 3回 食品等開発研究会 新製品(試作品)の開発完了</p>		
	成果目標	プロジェクトの推進		事業 評価	<p>事業結果</p> <p>・フーズ・サイエンスセミナーの実施 開催回数3回 参加者数474人</p> <p>・技術相談会 開催回数3回 相談件数32件</p> <p>・マーケティング相談会 開催回数3回 相談件数29件</p> <p>・食品等開発研究会 11月に試作品の内覧会を実施し、また12月に商談会を実施した。3月末までに新製品(試作品)の開発を完了予定。</p>		
	総合計画 の 位置付け (分野別)	政策方針	IV産業・経済 1 都市型産業集積を目指した産業構造の知的高度化				
		大施策	(3) 地域産業を支える知的経営資源の活用強化				
		中施策	①研究開発力の強化				
産業振興 プラン 位置付け	基本方向	3 次代を担う産業集積の構築		<p>次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等</p>	<p>・セミナーは、フーズ・サイエンスヒルズプロジェクトにおける事業成果を含めて講演を行う予定。また、セミナーだけでなく施設見学会等も実施していく。</p> <p>・牧之原市、島田市も平成26年度から参画予定。</p>		
	基本方針	(1) 新産業クラスターの形成					
	基本施策	①健康・環境クラスターの形成推進					
担当課等	<p>経済局商工部 産業政策課 新産業担当 主任主事 佐藤 貴司 (内線) 82-2313</p>		その他 (特記事項)				

事業 27	ものづくり基本計画	(方針3) 連携を活かした新たな取組みの推進 (施策5) 多様な分野との新たな連携や取組みへの支援		平成25年度				
	事業名	地域結集型研究開発プログラムの推進		予算額	5,000千円			
				決算見込額	5,000千円			
	事業概要	地域産学官の連携のもと、世界市場を視野に入れた新世代茶飲料・素材の開発・事業化を目指します。		取組状況 H25.9.1 現在	<p>独立行政法人科学技術振興機構の委託事業。(公財)静岡県産業振興財団が事務局を務める。静岡県・静岡市・大学・民間企業が連携し、大学等の基礎的研究から生まれた技術を結集し、科学的根拠に裏付けられた、健康によく、味・香りのよい新たな茶飲料の開発を行い、早期事業化を目指す。</p> <p>【研究テーマ】 「香味向上を目指した茶栽培・加工工程への光技術等の活用と実用化への研究」 「茶を原料とした飲料・素材の開発と実用化に関する研究」 「カテキン類の味覚・機能性等の評価と安全性に関する研究」</p> <p>【実施期間】 平成21年1月～平成25年12月</p>			
		補足事項			進捗率等	H25.9.1 現在	研究開発継続実施中	
				H26.3.31 現在	研究開発プログラム終了			
	成果目標	プログラムの推進						
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	1 都市型産業集積を目指した産業構造の知的高度化		事業結果	<p>本プログラムによって以下の研究成果(商品化、試作品)が発表された。</p> <p>「味や香りに特徴を持つ新銘茶の創生」 白茶茶、高香味発揚茶 「新しい茶系飲料と食品素材の創生」 茶生葉紅茶飲料、テアフラビン素材、苦渋味抑制素材</p>		
		大施策	(3) 地域経済を支える知的経営資源の活用強化					
		中施策	① 研究開発力の強化					
産業振興プラン位置付け	基本方向	3 次代を担う産業集積の構築		事業評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> <p>平成25年12月をもって、本プログラムは終了。今後は、研究成果をもとに事業化を推進する「フェーズⅢ」を静岡県及び公益財団法人静岡県産業振興財団と連携し進めていく。</p>			
	基本方針	(1) 新産業クラスターの形成						
	基本施策	① 健康・環境クラスターの形成推進						
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業担当 民間交流研修職員 朝日伸一 (内線) 82-2313		その他(特記事項)					

事業 28	ものづくり 基本計画	(方針3) 連携を活かした新たな取組みの推進 (施策5) 多様な分野との新たな連携や取組みへの支援		平成25年度			
	事業名	駿河湾地域循環型社会の推進と新事業の創出プロジェクトの推進		予算額	10,000 千円		
				決算見込額	10,000 千円		
	事業概要	「駿河湾地域新事業推進研究会」が推進する、地域資源を活用した産学官連携による新事業創出に向けた活動に対し支援を実施します。		取組状況 H25.9.1 現在	平成25年度、同プロジェクトが取り組む研究活動計画 ・三保地下水を利用した魚介類陸上養殖事業化に係る研究 (東海大学) ・野草・食用植物の育成と有効成分の抽出の研究 (静岡大学) ・植物からの有効成分抽出研究 (静岡大学)		
		補足事項	進捗率等		H25.9.1 現在	(事業化件数) H25 / 0件	(事業化件数) 66.7 (%)
		H26.3.31 現在		(事業化件数) H24 / 2件 H25 / 1件 計 / 3件	(事業化件数) 100.0 (%)		
	成果目標	事業化件数 3件/3年		事業結果 事業評価	平成25年度、同プロジェクトが取り組む研究活動計画 ・三保地下水を利用した魚介類陸上養殖事業化に係る研究 (東海大学) ・野草・食用植物の育成と有効成分の抽出の研究 (静岡大学) ・植物からの有効成分抽出研究 (静岡大学) 平成25年度事業化件数 1件 (野草から抽出した植物の成長促進剤の販売)		
	総合計画の 位置付け (分野別)	政策方針	IV産業・経済 1 都市型産業集積を目指した産業構造の知的高度化		事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等 26年度が終了年度であるため、事業化若しくは事業化への具体的な道筋をつける必要がある。	
		大施策	(3) 地域産業を支える知的経営資源の活用強化				
		中施策	①研究開発力の強化				
産業振興 プラン 位置付け	基本方向	3 次代を担う産業集積の構築	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等 26年度が終了年度であるため、事業化若しくは事業化への具体的な道筋をつける必要がある。			
	基本方針	(1) 新産業クラスターの形成					
	基本施策	②環境関連産業の振興					
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業担当 主査 四條 陽一郎 (内線) 82-2313		その他 (特記事項)				

事業	ものづくり基本計画	(方針3) 連携を活かした新たな取組みの推進 (施策5) 多様な分野との新たな連携や取組みへの支援		平成25年度		
	事業名	アーティストとのコラボレーション支援推進(ニューウェーブしずおか創造事業)		予算額	7,864千円	
				決算額	7,589千円	
	事業概要	静岡の特色を活かした家具等の次代を担う新商品の開発を支援し、新規流通開拓を模索するため、意欲的企業による研究会の組織、デザイナー等とのコラボレーションによる新商品開発等に取り組みます。		取組状況	H25.9.1 現在	<ul style="list-style-type: none"> ■商品のリデザインと試作 初年度にデザイン開発した製品をデザイナーと企業で改良点等の協議を続けブラッシュアップを行いリデザインした。これをもとに試作品の開発を実行した。 ■販売ツール作成と広報活動 開発品のパンフレットを作成し、HP等で告知。首都圏での展示会への出展のPR等を行った ■展示会への出展 「東京インターナショナルギフトショー」を中心に首都圏で見本市等へ2回出展。また地元百貨店で1回の販売会を実施した。 ■商品化の模索 各展示会出展等での反響先を中心として、営業活動を継続。販路開拓作業を継続実施した。
		補足事項		進捗率	H25.9.1 現在	(開発点数) (%)
				H26.3.31 現在	(開発点数) H24~H25計 60点 (開発点数) 200 (%)	
	成果目標	開発点数 平成24~25年度 20点 (平成26~27年度 20点)				<ul style="list-style-type: none"> ■商品のリデザインと試作 初年度にデザイン開発した製品をデザイナーと企業で改良点等の協議を続けブラッシュアップを行いリデザインした。これをもとに試作品の開発を実行した。 ■販売ツール作成と広報活動 開発品のパンフレットを作成し、HP等で告知。首都圏での展示会への出展のPR等を行った。 ■展示会への出展 「東京インターナショナルギフトショー」を中心に首都圏で見本市等へ2回出展。また地元百貨店で1回の販売会を実施した。 ■商品化の模索 各展示会出展等での反響先を中心として、営業活動を継続。販路開拓作業を継続実施した。
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	IV産業・経済 5 すぐれた能力と意欲ある人材の育成・支援		事業結果	
		大施策	(3) 地域産業を支える知的経営資源の活用強化			
		中施策	②産学官・産業界・企業間の交流と連携の推進			
産業振興のプラン位置付け	基本方向	2 生活の質を高める産業の振興		事業評価等	(事務担当) 記載項目 所属部会からの意見及び指摘事項	
	基本方針	(1) マーケットを重視した事業展開の推進				
	基本施策	④地域・伝統産業の近代化推進				
所属部会	■伝統工芸創造部会 部長 本多副会長 部員 実石委員、杉山委員 アシスタント 二渡会長、中村委員 ■事務担当 地場産業担当 頭師副主幹		(事業担当) 記載事項 改善点・目標の未達成理由等	■改善点等 ①参加企業の技術をより活用した開発とするため、企業とデザイナーとの交渉回数を増加させ開発にあたった。 ②流通化をより高めるため、首都圏での見本市出展に加え、著名ギャラリー展示会への出展、更に地元百貨店等での販売会等も実施するなど、団体及び各企業での営業活動など多面的に販路開拓を行った。		
事業担当課等	経済局商工部 地域産業課 地場産業担当 副主幹 頭師雅之 (内線) 81-6641					

事業 30	ものづくり基本計画	(方針3)連携を活かした新たな取組みの推進 (施策5)多様な分野との新たな連携や取組みへの支援		平成25年度		
	事業名	新産業開発振興機構の活用に関する検討		予算額	5,840千円	
				決算見込額	5,840千円	
	事業概要	<p>これまでの新産業開発振興機構の活動実績を踏まえつつ、今後の市内ものづくり事業者との新たな連携を含めた活用の検討を推進する。</p> <p>同機構は、会員企業の技術や販路等に関する経営資源のハイブリッド化を図り、時代のニーズに応じた「ものづくり」や「ビジネスモデル」の研究に取り組む本市の重要な地域資源の一つである。</p> <p>そのような機構の事業概要は、産産連携及び産学連携による新産業創出に向けた研究開発をはじめ、新産業レポートなどの情報発信、県内学術研究機関(静岡大学、静岡県立大学等)との交流事業、講習会等の研修事業などを幅広く展開している。</p> <p>このように市内の中小企業が多数参加する当機構の連携を模索する中では、これまでにない業界との連携を視野に入れ、本市のものづくり産業における新たな展開の検討を進める必要がある。具体的には、深刻な後継者不足等を抱えながらも、若手クラフトマンの育成などにも尽力する伝統工芸分野とのコラボレーションも当該機構の新規展開事業として、その一つの選択肢に含まれるものとの期待から事業化が図られた経緯がある。</p>		取組状況	H25.9.1 現在	<p>地域企業の「産産連携」と「産学連携」を推進した。</p> <p>産産連携では、しみず新事業創出研究会を中心に会員相互の情報提供や意見交換を通し、地域の知的資産のハイブリット化を目指して、複数の会員企業が共同し小水力発電機の試作開発を行った。</p> <p>産学連携では、駿河湾地域事業化プロジェクトから生まれたシーズの支援をし、植物環境ストレス耐性向上技術を活用した肥料が製品化された。</p>
				進捗率等	H25.9.1 現在	
					H26.3.31 現在	
	成果目標	新産業開発振興機構の活用の検討		事業評価	<p>■地域産業課 伝統工芸を含む地場産業と新産業開発振興機構との連携について、静岡商工会議所機構事務局及び静岡特産工業協会との打合せを実施した。結果としては、両者のマッチングに困難な側面はあるものの、今後も継続的な協議を進めていくものとする。</p> <p>■産業政策課 地域企業の産産連携・産学連携による新事業創出を目指す同機構に対し、財政的な支援をすることで、会員企業の新規開発テーマの情報提供として、テーマ探索研究会の開催(1月)、大学等のシーズ紹介を主な内容とした産学官交流会(4月・6月・7月・10月・11月・12月・1月)の開催等、会員企業に対し、新事業創出のきっかけを提供する事業が行なわれてきた。 今後も同機構の支援を通じて、会員企業を中心とした地域における産産連携・産学連携を推進していきたい。</p>	
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針				
		大施策				
		中施策				
産業振興プラン位置付け	基本方向		<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p>	<p>■地域産業課 次年度においても、静岡商工会議所機構事務局及び静岡特産工業協会との協議を継続し、伝統工芸を含む地場産業と新産業開発振興機構との連携を模索する取組を推し進めていきます。</p> <p>■産業政策課 引き続き新しい事業の創出につながる機会の提供、会員企業等への効果的な支援等が行われるよう同機構に求めていく。</p>		
	基本方針					
	基本施策					
担当課等	<p>経済局商工部 地域産業課 産業経営担当 副主幹 佐藤 征教 (内線) 81-6641 経済局商工部 産業政策課 新産業担当 主査 四條 陽一郎 (内線) 82-2313</p>		その他(特記事項)			